

作業場所や敷地境界における粉じん濃度をリアルタイムでモニタリングすることができます。また、粉じん濃度と環境中のダイオキシン類濃度の関係を事前に測定・分析しておくことで、環境中のダイオキシン類濃度を算出し、表示することが可能です。

● 機能・特長

リアルタイム測定

粉じん濃度とダイオキシン類濃度をリアルタイムで表示し、記録・保存することが可能です。

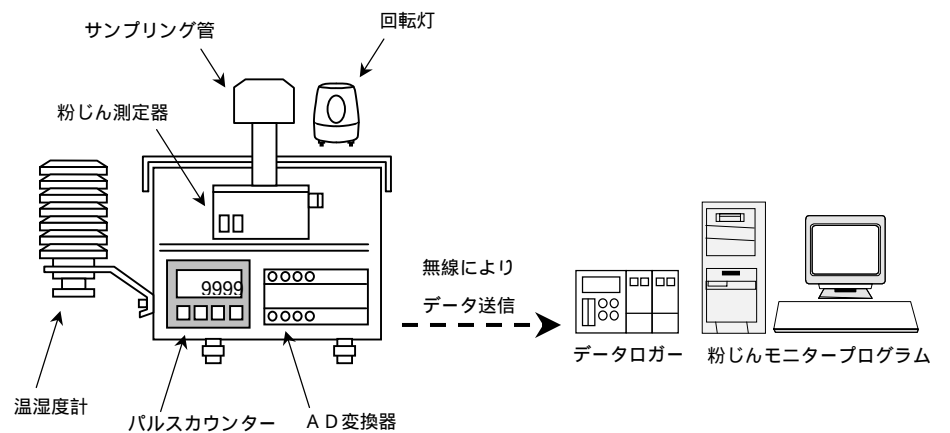
警報装置

監視基準濃度を設定しておくことにより、現地の警告灯及びパソコンのブザーで警報を発することができます。また、管理者の携帯電話にメールで警報を送信することも可能です。

インターネットを介してのデータ閲覧

インターネットを介してデータを配信することが可能です。その場合、インターネットに接続可能なパソコン及び携帯電話からデータを閲覧することができます。

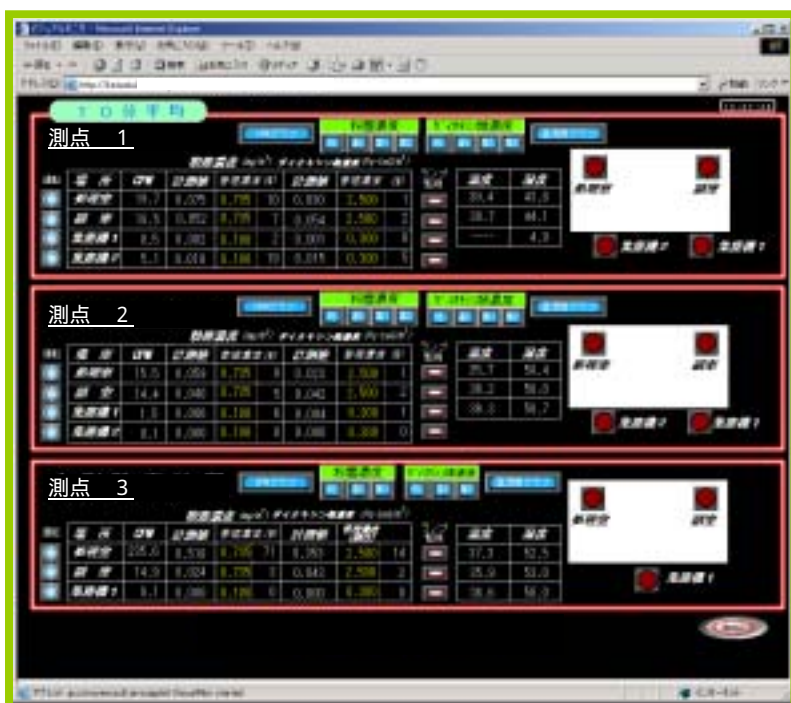
● 計測システム



無線によるデータ通信

データの送信に無線を採用することで、現場～データロガー間のケーブル配線が不要となり、設置作業が容易になりました。

● サンプルング画面



● 並行稼動システム

■ ネットワークカメラ

遠隔操作可能な無線通信式ネットワークカメラ

現場や危険な作業環境への立入りが厳しく制限される場合など作業状況の監視が必要な場合、このネットワークカメラが役に立ちます。パソコンから遠隔操作でズーム方向が変更することができます。無線通信なので設置も簡単に行えます。インターネットへの接続も可能で自宅からの監視や近隣への情報提供も可能となります。



■ 騒音・振動システム

振動騒音表示器及び無線通信式自動計測システム

現場内で生じる振動・騒音を表示器で計測し直ちにデシベルで表示されます。管理値を超えると回転灯を動作させることも可能です。振動騒音値を記録させることも可能で移動も可能な表示機とパソコンを無線通信で接続します。

